



令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 KNT-CTホールディングス株式会社
 コード番号 9726 URL <https://www.kntcthd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米田 昭正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 伊藤 浩一 TEL 03-5325-8522
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	109,534	7.2	2,700	—	2,674	—	1,673	61.3
31年3月期第1四半期	102,139	0.3	60	△93.1	163	△82.2	1,037	183.9

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 1,036百万円 (△31.9%) 31年3月期第1四半期 1,522百万円 (151.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	61.23	—
31年3月期第1四半期	37.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第1四半期	143,116	27,986	19.5	1,021.98
31年3月期	141,479	26,950	19.0	983.82

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 27,924百万円 31年3月期 26,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2年3月期	—	—	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 令和2年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	215,000	3.6	2,300	50.6	2,390	39.7	1,470	△11.1	53.80
通期	422,500	2.6	3,000	18.5	3,200	12.9	1,860	45.4	68.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期1Q	27,331,013株	31年3月期	27,331,013株
② 期末自己株式数	2年3月期1Q	7,350株	31年3月期	7,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期1Q	27,323,712株	31年3月期1Q	27,324,664株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかな回復基調のもと引き続き雇用や所得環境の改善が見られましたが、海外経済の減速懸念等もあり、先行きの不透明感が増す展開となりました。

旅行業界におきましては、4月から5月にかけての大型連休による旺盛な旅行需要に伴い、海外旅行、国内旅行とも好調に推移いたしました。海外旅行は、アジア、ハワイ方面が引き続き好調を維持したほか、ヨーロッパ方面が回復傾向を強め、国内旅行についても北海道、沖縄、九州をはじめ各方面で旅行需要が伸びました。訪日旅行は、アジア、ヨーロッパ、アメリカからの旅行者がさらに増えるなど拡大傾向を続けました。

このような情勢のもと、当社グループは、昨年策定した「個人旅行事業の再構築と団体旅行事業の拡大・強化」を骨子とする中期経営計画のもと、近畿日本ツーリストとクラブツーリズムの一体化を推進し、Web販売の強化と着地型商品造成へのシフトによる商品力強化に注力いたしました。

国内旅行におきましては、個人旅行では、平成から令和への改元を記念し、元号にゆかりのある場所などを巡るツアーや改元当日の日の出を見物するツアーなどお客さまのニーズを捉えたツアーを実施し、好評を博しました。また、ファンから将棋の聖地と呼ばれる愛知県・西浦温泉の銀波荘で女流棋士と対局できる宿泊プラン、混浴で有名な「ヒバ千人風呂」の青森県酸ヶ湯温泉旅館を開業以来初めて全館貸切りにし、「ヒバ千人風呂」を混浴なしに楽しめるようにしたツアーなど、独自性に富んだ旅行商品を近畿日本ツーリスト、クラブツーリズムの両ブランドで販売いたしました。さらに、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のオフィシャルパートナーとして、当社グループのWeb会員に登録することで東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の観戦券付ツアーが当たるキャンペーンを開催し、会員顧客の増加に努めました。また、団体旅行では、両大会に備え外国選手団が行う事前キャンプの受け入れや自治体による聖火リレーの運営などの受託営業に努めました。

海外旅行におきましては、個人旅行では香港ディズニーランド・リゾートで開催される人気ランニングイベントへの参加と宿泊をセットにしたツアーや、オーストリアのザルツブルクで開催される世界最高峰の音楽祭の公式演目に出演して合唱できるツアーを販売いたしましたほか、ツアー開始まで行先や行程がわからない「ミステリーツアー」でグループ初となる海外ツアーを発売するなど、オリジナリティのある商品の造成に注力いたしました。また、団体旅行では、法人、団体等への提案型営業に努め、MICE (Meeting Incentive Convention・Congress Event・Exhibition) 市場等の開拓に引き続き注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は1,095億34百万円（前年同期比7.2%増）、連結営業利益は27億円（前年同期比26億39百万円増）、連結経常利益は26億74百万円（前年同期比25億10百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億73百万円（前年同期比61.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、流動資産で主に現金及び預金ならびに営業未収金が減少したものの、預け金および旅行前払金が増加したことにより23億20百万円（1.9%）の増加、固定資産で主に繰延税金資産が連結子会社の税務上の繰越欠損金の解消に伴い減少したことにより6億84百万円（3.4%）の減少となった結果、差し引き16億36百万円（1.2%）増加し、1,431億16百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ、流動負債で主に営業未払金および預り金が増加したことにより6億88百万円（0.6%）の増加、固定負債で主に旅行券等引換引当金が減少したことにより88百万円（2.7%）の減少となった結果、差し引き6億円（0.5%）増加し、1,151億29百万円となりました。また、純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ10億36百万円（3.8%）増加し、279億86百万円となりました。

この結果、自己資本比率は19.5%で前連結会計年度末から0.5ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績を踏まえ、現時点において、通期の連結業績予想につきましては、令和元年5月10日に公表した予想数値に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,598	18,985
預け金	50,749	53,765
受取手形及び営業未収金	26,722	24,990
商品	19	14
旅行前払金	19,467	21,543
その他	3,988	4,560
貸倒引当金	△24	△17
流動資産合計	121,521	123,842
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	786	793
土地	135	135
その他（純額）	512	476
有形固定資産合計	1,434	1,404
無形固定資産		
その他	2,267	2,458
無形固定資産合計	2,267	2,458
投資その他の資産		
投資有価証券	5,673	5,180
退職給付に係る資産	1,736	1,757
繰延税金資産	3,262	2,800
その他	5,957	6,020
貸倒引当金	△373	△349
投資その他の資産合計	16,256	15,410
固定資産合計	19,958	19,274
資産合計	141,479	143,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	22,167	24,133
未払金	6,709	5,943
未払法人税等	234	135
預り金	17,561	19,853
旅行券等	18,327	17,829
旅行前受金	42,364	40,771
賞与引当金	2,434	1,320
その他	1,426	1,926
流動負債合計	111,224	111,912
固定負債		
旅行券等引換引当金	990	946
その他	2,314	2,270
固定負債合計	3,305	3,216
負債合計	114,529	115,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,041	8,041
資本剰余金	7,204	7,204
利益剰余金	9,010	10,683
自己株式	△12	△12
株主資本合計	24,244	25,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,994	1,649
繰延ヘッジ損益	△65	△284
為替換算調整勘定	249	179
退職給付に係る調整累計額	459	462
その他の包括利益累計額合計	2,637	2,007
非支配株主持分	68	62
純資産合計	26,950	27,986
負債純資産合計	141,479	143,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	102,139	109,534
売上原価	84,917	89,156
売上総利益	17,221	20,378
販売費及び一般管理費	17,161	17,678
営業利益	60	2,700
営業外収益		
受取利息	46	55
受取配当金	29	37
為替差益	15	—
持分法による投資利益	22	—
その他	7	9
営業外収益合計	121	102
営業外費用		
支払利息	14	14
為替差損	—	101
持分法による投資損失	—	5
その他	3	6
営業外費用合計	17	128
経常利益	163	2,674
特別損失		
固定資産除却損	10	0
事業構造改革関連費用	108	—
投資有価証券評価損	2	—
その他	0	—
特別損失合計	123	0
税金等調整前四半期純利益	40	2,673
法人税、住民税及び事業税	26	268
法人税等調整額	△1,017	736
法人税等合計	△991	1,005
四半期純利益	1,031	1,668
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,037	1,673

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純利益	1,031	1,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	△344
繰延ヘッジ損益	270	△218
為替換算調整勘定	2	△71
退職給付に係る調整額	△20	2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	490	△631
四半期包括利益	1,522	1,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,517	1,042
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)
当社グループは「旅行業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年6月30日)
当社グループは「旅行業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。